市内高等学校魅力化支援プロジェクト

基本目標２　ひとや企業とのつながりを築く

■事業の課題・目的

　授業料無償化や公共交通の運転手不足により、県立志布志高校への進学を希望する生徒数が減少し、定員まで満たない状況が続いています。また、複数の市外私立高校スクールバスが本市を往来し、私立高校の選択肢も増えている状況があります。
　このような現状を踏まえ、県立高校の定員数を確保しつつ市内にある県立・私立高校の２校を進路先として選択してもらうため、市内高等学校の魅力化を図るものです。
　この事業により、地域課題及び地域貢献意識を深め、人材育成につなげる目的もあります。

■事業内容



　県立志布志高校は地域の中学生向けの一日体験入学を充実させ、在校生が積極的に運営に携わるなど、ほかの高校と差別化を図ることで、魅力化につなげています。
　私立尚志館高校は、在校生向けの芸術鑑賞の機会に補助金を活用し、本市で学びながらも芸術に触れる機会を創出し、魅力化に繋げています。
　また、共通して、英検・漢検の各種検定受験料を合格時に全額補助することで、教育環境の充実にも寄与しています。

■なぜ寄附を募るのか

　この高等学校の魅力を向上するプロジェクトは、生徒数確保や学校活性化だけでなく、地域に愛着を持つ若者の育成にも寄与します。
　また、市内には伝統ある２つの高校があり、卒業後に、各地でご活躍されている市内出身者が多数いらっしゃいます。
　高校生を応援する事業が継続されることで、若者の地元定着が促され、やがて産業の持続・発展、地域の稼ぐ力につながっていくと考えます。



■メッセージ

　本市の人口動態では、15歳～24歳の若者世代の人口流出が毎年4～500人程度となっており、高校や高等教育機関の教育環境や周辺環境により影響を受けていることが分かっています。
　そこで、当時高校側とも協議を行い、各種検定補助が高校の魅力化やキャリア教育に繋がると考え事業開始となりました。
　市内にある高校に通学する高校生（あなたの後輩）のために、そして、志布志市だけでなくこれからの地域の未来を支える人材を育成するために、このプロジェクトへのご支援をお願いします。